



新潟県警察

警務部



警務部 広報広聴課

巡查長 2011年採用

警察官を目指したきっかけ

進路に迷っていた高校3年生の時に地元の交番のお巡りさんとお話をする機会があり、そこで警察官の基本的な仕事内容などを熱心に教えて頂きました。親身になって話をしてくれる交番のお巡りさんに「カッコいいな」と憧れを感じたことと、TVドラマ「踊る大捜査線」が好きだったこともあり、警察官を志望しました。



現在の仕事とやりがい

現在は、県民相談に関する処理等を担当しています。また、県警音楽隊で「県民と警察を結ぶ音の架け橋」として、演奏を交えて警察広報を行っています。音楽隊としてやりがいを感じることは、演奏後に県民の方から拍手や「演奏良かったです、詐欺に気が付きます」等のお声かけを頂くと、とてもうれしいですし、更に技術を向上させ、心に残る演奏が出来るように頑張ろうと思えます。



“当たり前の日常を守る”ことへの意識の変化

警察官になる前は、私達が生活している新潟県でこんなに事件や事故が発生しているとは思っていませんでした。私がずっと「新潟県は平和だな」と感じられていたのは、先輩方が私の「当たり前の日常」を守って下さっていたからだと感じています。今度は私も警察官として、誰かの「当たり前の日常」を守れるよう、仕事を頑張りたいと思っています。



メッセージ

警察は、「交番のお巡りさん」の他にも、交通安全の指導を行う係、鑑識活動を行う係、私が所属する県警音楽隊など、色々な仕事があるので、あなたの「得意」を発揮できる仕事が見つかります。

進路について悩んでいる方も多いと思いますが、少しでも興味がある方は、ぜひ、思い切って「警察官」という仕事を選んでみてください。